

SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター
所長室 計画調整グループ

平成14年8～9月の運転実績

SPring-8は7月13日から8月31日まで夏期の長期運転停止期間、9月1日から9月13日までマシン及びビームライン調整期間の運転を実施した。

マシン及びビームライン調整期間は夏期の運転停止期間に新規に設置された機器や既設の改造等を行った機器の調整と第7サイクル以降のユーザー運転に向けての調整を行い放射光の提供は行わなかった。

1. SPring-8の長期停止期間中の主な作業

- (1) 線型加速器関係
 - モジュレーター点検作業
 - 電子銃点検作業
 - M7加速管の交換作業
 - その他点検・整備作業
- (2) シンクロトロン関係
 - クライストロン本体及び電源点検作業
 - 電磁石電源点検作業
 - その他点検・整備作業
- (3) 蓄積リング関係
 - ビームラインの増設
 - 挿入光源据付・既設改造作業
 - FE新規据付・既設改造調整作業
 - RF定期点検及びアブソーバ交換作業
 - NEG活性化作業
 - 超伝導ウィグラー設置作業
 - 振動測定及びレベル測量
 - 高分解能ステアリング電磁石設置作業
 - 冷却水(L1真空系)系統改造作業
 - 制御系メンテナンス・機器交換作業
 - その他点検・整備作業
- (4) ユーティリティ関係
 - 電気設備保守点検作業
 - 冷却水設備保守点検作業
 - 空調設備保守点検作業
 - 防災設備保守点検作業
 - その他定期点検・整備作業
- (5) 安全管理関係
 - 入退出管理システム定期点検
 - 放射線監視システム定期点検
 - 放射線監視設備定期点検

その他点検・整備作業

2. 装置運転関係

(1) 運転期間

マシン及びビームライン調整期間
(9/1(日)～9/13(金))

(2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約290.5時間
装置の調整	約290.5時間

(3) 主な調整内容

Sy-SRタイミング調整、機器動作チェック
入射軌道調整
軌道調整、ディスパージョン補正
BPMオフセット測定、バランス測定及び再現性確認
超伝導ウィグラー試験運転
COD自動補正試験、応答関数測定
バンチ長測定、チューンセパレーション
低エミッタンス化試験
挿入光源調整
各ビームライン調整
ユーザー運転時のフィリングの安定性確認

(4) トピックス

9月3日から9月5日まで、夏期の運転停止期間に蓄積リングに設置した超伝導ウィグラーの試験運転を行い、陽電子の生成実験を行った。

平成14年9月の運転・利用実績

SPring-8は9月18日から10月11日まで第7サイクル(4週間連続運転モード)の運転を実施中である。運転・利用実績については次号にて掲載する。

今後の予定

- (1) 9月18日から12月20日までサイクル間の運転停止期間・中間運転停止期間をはさみ、4週間連続運転モード(マルチバンチ及びセベラルバンチ運転、蓄積電流100mA)の運転(第7、第8サイクル)と5週間連続運転モードの運転(第9サイクル)を行う。詳細な運転条件については決定しだい、ユーザーに報告する。